

第3回 美術科教育学会 リサーチフォーラム・オンライン

社会・人 のための 美術教育



美術教育の未来へ向けての疑問符

2022.3.13 (日) 13:00 ~ 15:00

ゲストスピーカー



平野智紀



安斎勇樹

企画者



北野 諒

参加対象 どなたでもご参加いただけます
参加費用 無料
開催形態 動画配信プラットフォームを用いたオンライン開催
申込方法 <https://forms.gle/RgAKpxBCUvvujCvD6>



社会人(社会・人)のための美術教育？ 美術教育の未来へ向けての疑問符

2021年度、美術科教育学会では、コロナ禍においても学術研究の灯を絶やさずに美術教育学の未来を展望することを企図し、オンラインでのリサーチフォーラムを展開してきました。最終回となる第3回では「社会人(社会・人)のための美術教育？」をキーワードとして、地域や社会の多様な現場で実践を重ねている2名のゲストスピーカーをお招きし、企画者と共に「美術教育の未来」へ向けた検討を試みます。

美術教育によって涵養される資質・能力は、社会の中で生きていくうえで、どのように活かされうのか？あるいは、社会で求められる創造性から逆算するならば、美術

教育はどのようにその萌芽を育むことができるのか？本フォーラムのタイトルに差し挟まれた疑問符(?)は、これらの問いや、「社会人」という言葉に潜在する社会像・キャリア観への問い直し、美術教育の担うミッションの問い返しなど、複数の問題群を含意しています。

マルセル・デュシャンは「答えはない、なぜなら問題が存在しないからだ」という言葉を残しています。これを裏返すならば、未来に向けて美術教育学が「答え」を出すためには、まずはそこに「問題」が発見されなくてはなりません。全3回のレクチャーシリーズの結びとして、美術教育における新たな「問題」を生み出すことができれば幸いです。

ゲストスピーカー

平野智紀 (ひらのともき)

内田洋行教育総合研究所主任研究員。昭和女子大学環境デザイン学部非常勤講師。東京大学大学院学際情報学府博士課程在籍。大地の芸術祭・あいちトリエンナーレ・六本木アートナイトなど、芸術表現と社会が接する現場において、対話型鑑賞の視点からガイド育成に携わる。分担執筆『教師が学びあう学校づくり』(第一法規)ほか。美術科教育学会員。

安齋勇樹 (あんざいゆうき)

株式会社MIMIGURI代表取締役Co-CEO。東京大学大学院情報学環特任助教。商品開発・人材育成・地域活性化などのコンサルテーションに携わり、企業経営と研究活動を往復しながら、人と組織の創造性を高めるファシリテーションとマネジメントの方法論について探究している。主な著書に『問いのデザイン:創造的対話のファシリテーション』、『問いかけの作法:チームの魅力と才能を引き出す技術』など。

企画者

北野 諒 (きたの りょう)

大阪成蹊短期大学幼児教育学科講師。「関係の造形」を研究テーマとして、現在は幼児教育のフィールドで【遊び・対話・鑑賞・造形・表現】をキーワードに活動を展開している。主な論文に『半開きの対話 対話型鑑賞における美学的背景についての一考察』など。美術科教育学会員。

第3回フォーラム開催にあたって、企画者による問題提起の動画を作成しました。URL・QRよりご覧いただけます。



<https://www.youtube.com/watch?v=BtinjQa2kA8>

2022.3.13(日) 13:00 ~ 15:00 (リアルタイム配信)

フォーラム当日までに、参加お申込みいただいた方を対象に、
ゲストスピーカーによる関連動画(オンデマンド視聴可能)を配信いたします。

参加対象 美術科教育学会員の方、およびフォーラムのテーマに関心をお持ちの学会員以外の方

参加費用 無料

開催形態 動画配信プラットフォームを用いたオンライン開催

申込方法 URL・QRからアクセスし、グーグルフォームにてお申込みください → <https://forms.gle/RgAKpxBCUvujCvD6>

